

ご協力ありがとうございます！

【12月の寄付品】(敬称略)

佐藤久盛、博多ライオンズクラブ、早良警察署、狩野伸子
西日本プラント工業、クリスター、(有)パイセ・ド・ヴィ、笹崎宮
筑豊製作所、平井正則、丸善自動車、前田富洋、屋並和雄
馬場雄二、富安道德、岡村美穂、中井一平、進藤徳博
福岡リパティライオンズクラブ、加藤順市郎、早良第一交通(株)
室井勉、増留愛香音

鬼木大明神 今月の一句

自分たちが生きている時間は決して無限ではない
のだ！その大切な時間を無駄に浪費してはいないだ
ろうか？忙しく働く中でも自分のやりたいことをやれ
る余白時間を創ろう！創った自由時間を自分自
身のために集中して有効に使おう！また周りに人が
いるとつい流されてしまう。ひとりになる勇気を持って
行動しよう！ひとりの時が一番強くなれるはずだ。
毎日少しずつほんのちよつとした
心がけでも積み重ねて行けば、
大きな幸せや大きな満足が
得られるものだ！すべからず情性に
流されずに主体的に生き続け
悔いのない人生を送ろうじゃないか！

喝

六本松の「本と羊」マルシェ

12月19日(日)に第8回目「本と羊」さんでマルシェ
をさせていただきました。当日は寒くてお客さんがくる
かどうか心配でしたが、予想以上にお客さんが来てくだ
さっているいろいろな方にオイスカの農産物をご購入してい
ただきました！次回は2月に開催予定です！(園田)

大阪マラソンの
チャリティ募金は
1月25日までと
なっております。
ご協力お願い
いたします！！
(園田)



こちらの QR コードからチャリティ募金の
サイトが見られます。→



1月の予定

4日 仕事始め
16日 第14回チャリティゴルフコンペ
22日 生松台ふれあい市(10:00～)



体験農園だより

冬本番の12月になりましたが、コロナ禍の影響もあり、体験農園では毎週末に多くの参加者が寒さに耐えながら収穫をされています。ほぼすべての野菜が収穫時期を迎えて、喜んでいただいています。

12月初旬に行った味噌づくりでは50名近くの方が参加をされました。初参加の方は初めての味噌づくりが特に楽しかったようで、生き生きとした目をされていました。また25日(土)には餅つき大会を開催。クリスマスということもあってか、100名を超える参加者で賑わいました。餅に、しし汁に、焼き芋にとたくさん食べて満足していただけたようです。来年も豊作になることを祈って、年末年始を迎えたいと思います。皆様もよいお年をお迎えください。(飯川)



第6回生松台ふれあい市

12月18日(土)に西区生松台ふれあい市にオイスカの農産物の販売をしました。

当日は年末もちつき大会も行われ大勢の方に来場いただき、会場ではぜんざいも振る舞われ、オイスカブースでもたくさんの農産物をお買い求めいただきました。今回で販売会も6回目となり、回数を重ねるごとにオイスカのファンも増え、10時の販売開始前から心待ちされていたお客さんがテント前に並んでくださいました。今年最後のふれあい市になりましたが2022年の初セー
ルは1月22日です。また新鮮なお野菜を準備してまいりますので、生松台のみなさん宜しくおねがいします。
(満川)



まるごと!西日本



Instagram



facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oisca@oisca.org 検索 oisca.org



日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

2022年 1月号付録

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

旧年中はオイスカ活動に格別のご厚情を賜り厚く御礼
申し上げます

オイスカが世界のNGOとして活動を開始し、昨年六十年を
迎え新たな活動へと継続させていただいております

これもひとえに皆さまのご支援あつてこそと感謝致します

今後とも母なる地球のふるさとづくりに向けて海外研修生の

人材育成と国内社会連携に邁進してまいります

本年も何卒変わらぬご支援ご指導を賜りますよう

よろしくお願い申し上げます

令和四年 元旦

公益財団法人オイスカ西日本支部

会長 瓜生 道明

公益財団法人オイスカ西日本研修センター

所長 廣瀬 兼明



農場研修風景

12月に入ってから中旬にかけて3名の研修生が帰国し、センターにはフィリピンのOB研修生が1名残るのみとなりました。2021年は、新型コロナウイルスの影響で帰国を延長した4名の研修生と一緒に、昨年より高い目標に向かって農場の運営に取り組んできました。研修生には通常よりも広い面積の畑を、責任を持って管理してもらい、日常の栽培計画の作成から管理、収穫販売の実績まで確認しながら取り組んでもらいました。大きな責任を持たされた研修生たちは、休日に自転車で畑まで行って野菜の生育状況を確認するなど、自ら率先し自分で考えながら作業に取り組む姿勢を徐々に身に着けていきました。この1年間の彼らの成長ぶりは目を見張るものがあり、周囲の方からもたくさんの応援をいただき、近所のおじちゃんからは缶コーヒの差し入れを毎朝もらうほどの人気ぶりでした。

現在センターは非常に寂しい状況ですが、来年新たな研修生を迎え、1日も早くにぎやかなセンターに戻るように祈るばかりです。(毎日の収穫が大変)(豊田)



福岡女学院中学校野菜収穫体験

12月13日(月)、JTBの企画で福岡女学院中学校の2年生61名(引率5名)がセンターを訪問し、オイスカの活動紹介とジャガイモとニンジンの収穫体験を実施しました。この企画は、センターの野菜や果物の出荷先でもある「ホテルオークラ」でのテーブルマナー研修がメインのプログラムとなっており、今回センターの農園で収穫したジャガイモとニンジンを使った料理を、そのテーブルマナーの時に振る舞うという筋書きになっているそうです。

当日は、中学生を2グループに分けて農場まで送迎し、ジャガイモを一人6株、ニンジン10本収穫してもらいました。短い時間でしたが、中学生にとっては初めての収穫体験という事もある、みんな楽しく作業に取り組んでもらう事ができました。センターを後にした学生たちは、ホテルオークラでどのようなフレンチのコースを食べたのかわかりませんが、センターでの収穫体験も含めて、貴重な経験になった事と思います。(豊田)

フリースクール玄海餅つき大会及び演劇発表会

12月26日(日)、福岡県古賀市にあるオイスカ会員のフリースクール玄海の餅つき大会が行われました。当日は寒波によりとっても寒い一日でしたが、オイスカの技能実習生も参加して杵と臼を使ってペタンペタンと生徒たちと一緒に楽しくお餅をつきあげました。古賀市はオイスカの会員自治体で、田辺一城市長もスクールへ駆けつけていただき激励をいただきました。フリースクール玄海の生徒は毎年オイスカの海外研修に参加をしていましたが、現在はパンデミックの影響でストップしています。また機会がきましたら、語学・熱帯農業研修を通して海外の文化に触れ将来を考える糧になる機会にしていきたいと思います。(満川)



早良高校生職場体験

12月13日に10名、14日に6名の早良高校2年生が職場体験に来ました。慣れない作業とは思いましたが、みんなで元気に楽しく作業して「またオイスカに来たい!」と言っていました。2日間ありがとうございました!(園田)



オイスカ会員様紹介

今回紹介をさせていただくのは、オイスカ佐賀県推進協議会の法人会員で、保育園「ひなた村自然塾」さんです。こちらの保育園とは、年間を通してオイスカの海外研修生との交流を積極的に実施していただき、米作りから梅の収穫体験など研修生にとっては貴重な経験の場を提供していただいています。

保育園の藤崎博喜園長先生にお話を聞きました。

＜オイスカへの入会のきっかけは?＞ 同いオイスカ会員で同級生でもあった中西隆二氏からの誘いでフィジーのオイスカセンターを訪問し、その時にオイスカの活動を知り、OB研修生との関りが出来たことがきっかけとなり、オイスカセンターにて豆腐作りもしました。

＜オイスカへのメッセージをお願いします＞ 現在、新型コロナウイルスの影響で海外研修生の入国が出来ない状況で大変だと思いますが、コロナが落ち着いて早く研修生の受入れが可能となり、また以前のように保育園の子どもたちと交流を深める機会が持てればと思います。うちの園では、子どもたちに自然や動物に触れる機会を多く与えると同時に、世界の多くの国の人達と交流をすることを大切にしています。国際交流をすることで、世界にはいろいろな人がいて、肌の色や言葉、文化の違いなどを子どもたちに肌で感じてほしいと思っています。オイスカの研修生と交流する事が子どもたちにとって世界を知るとても良い機会になっているので、これからも楽しく交流を深めていきましょう。

＜保育園ひなた村自然塾の概要について＞

保育園「ひなた村自然塾」は平成17年に設立され、定員は150名(生後6か月から就学前児童)の受入れで、事業内容としては通常の保育事業から一時保育、子育て支援事業、小学校低学年受入れ事業フリースクールおよび放課後デイサービス事業なども行っています。

(所在地)〒840-0202 佐賀県佐賀市大和町大字久池井1368番地
(連絡先)TEL 0952-62-4881 FAX 0952-62-5620



OB研修生紹介

今回紹介するOB研修生は、インドネシアのペラニさんです。

ペラニさんは2013年度の研修生で、頭の切れも良く何でも積極的に取り組む優秀な研修生でした。

そんなペラニさんは、今インドネシアで何をしているのでしょうか?

＜ペラニさんは日本から帰ってから何をしていましたか?＞

1年間オイスカスカブミ研修センターで働きながら羊を育てました。その後オイスカのボランティア期間が終わり、今まで技能実習生の送り出し機関で働いています。日本語を教えたり書類を作ったりしています。私は仕事をしながら、2014年から自分の会社を作りました。ウサギやコイを育てています。そして両親と一緒に野菜も作ります。今まで、ウサギの親は80匹います。販売はインドネシアの中だけじゃなくて、日本やマレーシア、フィリピンとパキスタンへ輸出しました。
＜家族の紹介をお願いします。＞ 私の家族は3人で奥さんと息子1人です。私の息子は、2016年の2歳の時に大変な病気になりました。頭の中に腫瘍ができたのです。だから病院へ行って、手術と55回化学療法をしなければならませんでした。でも、2019年にはやっと元気になり、今は小学校に通っています。

＜日本の料理で好きだったものは何ですか?＞

一番好きだった料理は「うどん」です。

＜これから将来何かプランはありますか?＞

時間があればぜひ日本へ行ってコイを勉強したいです。そして、将来のプランは日本語学校を作る事と、ウサギとコイを増やしたいです。

以上、これからの活躍が期待されるペラニさんでした。

日本のコイは、インドネシアでとても高く売れるそうですよ。

